

## 確かな学力の育成に関わる取組の成果と課題



### ～県学調質問紙調査の結果から～

県南教育事務所では、確かな学力の育成に関わって、「**板書の工夫**」「**ノートの工夫**」「**教員相互の授業参観**」の3つを重点として取り組んできました。県学調の結果分析から、各学校で取り組んだ成果や来年度に向けての課題をまとめてみました。

項目	本年度の結果 ※○▲は昨年度との比較	分析
<b>1 板書の工夫について</b> 授業の冒頭で目標を児童生徒に示す活動をしていますか。 ◆学校質問紙より	「よく行っている」割合 【小学校】 82.9% 【中学校】 66.7%	◇ 学校質問紙の結果から、 <b>小・中学校ともに岩手県の結果を上回っています。</b> ◇ 児童・生徒質問紙では、岩手県とほぼ同じ結果ですが、 <b>小学校4年生において結果が低い傾向です。</b> ☆ 授業に確実に位置づけ、 <b>児童生徒にさらに意識付けを図る必要があります。</b>
授業の最後に学習したことを振り返る活動をしていますか。 ◆学校質問紙より	「よく行っている」割合 【小学校】 57.9% 【中学校】 36.4%	
<b>2 ノートの工夫について</b> 児童生徒が自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしていますか。 ◆学校質問紙より	「よく行っている」+「どちらかといえば行っている」割合 ※ ( )はH24の結果 【小学校】 90.8%▲(91.3%) 【中学校】 84.9%▲(90.9%)	
<b>3 教員相互の授業参観</b> 授業改善に向けて校内研修に位置づけた教員相互の授業参観に取り組んでいますか。 ◆学校質問紙より	「積極的に行っている」割合 ※ ( )はH24の結果 【小学校】 44.7%○(18.8%) 【中学校】 30.3%○(9.1%)	◇ 小・中学校ともに、 <b>昨年度と比較すると大幅にポイントが上昇しました。</b>

### 《今年度の成果と課題》

#### 【成果】

- **板書に「学習課題」「まとめ」を位置づけた授業**がされています。児童生徒への意識付けを図ると、さらに効果的です。
- **教員相互の授業参観に積極的に取り組む学校**が大幅に増えています。校内研だけではなく、日常的に学年や教科部会で授業を見合う等、授業力の向上のために取り組んでいます。

#### 【課題】

- ▲ 児童生徒が自分の考えを「**書く活動**」が不足しています。継続的なノート指導のためには、「自分の考えを整理する」「学習したことを自分の言葉でまとめる」等、書く目的を明確にすると効果的です。